

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年5月12日～2014年5月18日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年5月23日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼アブハジアとイタリアの諸都市が友好・協力に関する議定書に署名(12日)

・12日、サルディニア島南部サント・アンチオコにて、サント・アンチオコとソフミ、サン・ジョヴァンニ・スエルジュとピツンダ、カラゼッタとアハリ・アトニの間の友好・協力に関する議定書に署名がなされた。署名式にはソフミおよびピツンダの行政長が出席。

・16日には、ガグラにて、ガグラと伊アッシジ市との友好・協力に関する議定書に署名がなされた。

#### 【南オセチア】

##### ▼野草採集者の拘束に関するEUMMの声明(12日)

・南オセチア行政境界線付近で食用の野草「ジョンジョリ」の採集者の拘束が相次いでいることを受け、EUMMは全ての当事者に配慮を求める声明を発表。EUMMによれば、5月2日以降12日までに、5件で26名の住民が拘束された。14日には拘束されていた17名が解放された。

##### ▼南オセチア「議会」がNGOに関する法律を採択(14日)

・法律は、特に外国から資金を受けるNGOに対し、「法務省」へのより詳しい報告を義務づけるもの。

### 2. 外 政

#### ▼オランダ仏大統領がグルジアを訪問(13日)

・13日、オランダ仏大統領はアゼルバイジャンとアルメニアを訪問後にトビリシに到着。7時間の滞在中、ガリバシヴィリ首相、マルグヴェラシヴィリ大統領、パンジキゼ外相と会談し、「ガ」首相とともにグルジア・仏経済フォーラムで挨拶した。

・オランダ仏大統領はグルジアの前進を称賛し、グルジアの領土一体性および欧州との統合の追求に対する支持を強調。また、グルジア政府に対し、6月に署名が予定されるEUとの連合協定の実施に集中し、EUに関連する「その他の見通し」については急がないよう求めた。

・「マ」大統領との共同記者会見で、オランダ仏大統領は、グルジアの領土は占領下にあり、2008年8月の停戦合意は十分に尊重されていないと述べた。

・オランダ仏大統領は、中央アフリカ共和国でのEU軍事作戦へのグルジアの参加の決定の重要性を強調。「パ」外相との会談で、中央アフリカ共和国へのグルジア軍の派遣は、「現段階でEUのパートナーとして、そして長期

的な見通しでは加盟国としてグルジアに何ができるかを明確に示している」と発言。

・オランダ仏大統領はグルジア・仏経済フォーラムで挨拶し、エネルギー供給源の多角化を模索している欧州にとって、グルジアはエネルギー資源の輸送ルートとして重要であると述べた。

#### ▼チカイゼ内相がアゼルバイジャンを訪問(13日-14日)

・アリエフ・アゼルバイジャン大統領と、二国間関係、司法システムに関する協力、地域的な安全保障などについて会談。

・ウスボフ・アゼルバイジャン内相、ヘイダロフ・アゼルバイジャン緊急事態大臣とも会談した。

#### ▼ウクライナ南東部で行われた「住民投票」に関する外務省声明(14日)

・外務省は、ウクライナのルガンスク州およびドネツク州で実施された「住民投票」は法的な根拠を欠き、結果を承認することはできないとして、非難する声明を発表。

#### ▼ファン・ロンパイ欧州理事会議長がグルジアを訪問(14日)

・14日、ウクライナおよびモルドバへの訪問の後にトビリシを訪れたファン・ロンパイ欧州理事会議長は、マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相と会談。

・「ファ」議長は、6月27日にブリュッセルで行われる予定のEU・グルジアの連合協定への署名は「我々の協力の最終的な目標ではない」として、EUは連合協定の実施を開始するグルジアを強く支援すると述べた。グルジア国内の改革の進展および反差別法の採択を歓迎。

・共同記者会見で「ガ」首相は、東方パートナーシップ地域の困難な状況を踏まえ、欧州を選択した諸国に対し、EUが更なる支援と援助を行なうと信じていると述べた。

#### ▼ラスムセンNATO事務局長の発言(15日)

・ブラチスラヴァで行われた国際安全保障フォーラムで、NATOがグルジアに対しMAPを与えるかどうか質問されたラスムセン事務局長は、グルジアは目覚ましい前進を遂げたとして、それは9月のNATO首脳会議での議論に適切に反映されねばならないが、具体的にどのように反映されるかについて言うにはまだ早いと答えた。

・リンケヴィチウス・リトアニア外務大臣は、2008年のブカレストでの首脳会議でNATOはグルジアとウクライナに対してMAPを与えるべきであったと述べた。

#### ▼ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣がリンケヴィチウス・リトアニア外相と会談(17日)

・ブラチスラヴァで行われた国際安全保障フォーラムに

出席していた「ペ」国務大臣は「リ」リトアニア外相と会談した。「リ」リトアニア外相はグルジアの欧州との統合の追求に対する支持を強調。

### 3. 内 政

#### ▼国会が違法な盗聴・盗撮に関する調査委員会の設置を否決(14日)

・前週にTV局「ルスタヴィ2」が国による違法な盗聴・盗撮を告発したことを受け、国会内に調査委員会を設置することを統一国民運動の議員が要求したが、委員会の設置は、14日、与党会派の反対により否決された。

#### ▼国会が地方選挙後の地方公務員の解雇に関する規定の修正案第一読を承認(14日)

・国会は2月初めに、6月の地方選挙後に全ての地方公務員をいったん解雇し、再募集するとの規定を採択。政治的な動機に基づいた再任用に関する疑念を抱かせるとして、野党やNGOが批判し、人権保護官事務室は憲法裁判所に提訴していた。

・14日、国会は同規定を取り消す法案の第一読を採択。

#### ▼国会内に非公開の国防・安全保障関連の歳出を監視するグループが設置される(14日)

・与党会派3名、統一国民運動1名、独立派1名の計5名の国会議員から成るグループは、非公開の国防・安全保障関連の歳出・プログラムを監視する。

#### ▼地方選への立候補の申請が締め切られる(16日)

・6月15日の地方選挙への立候補の申請が16日に締め切られた。トビリシ市長選への立候補の申請者は14名。うち10名は中央選挙委員会が既に候補者として登録済。「統一国民運動」のメリア候補を含む4名については審査中。

#### ▼反同性愛のデモ(17日)

・「国際反ホモフォビアの日」に対抗してグルジア正教会が5月17日を「家族の力」を記念する日と定めたことを受けて、トビリシ市中心部でデモが行われ、正教会の聖職者に率いられた参加者らが、5月7日に発効した反差別法に対する抗議を訴えた。

・ナヌアシヴィリ人権保護官は「国内の法律は性的少数派に対し差別的ではないが、その実施に関して問題があり、政府はヘイトクライムに充分に対応できていない」との声明を発表。

### 4. 経 済

#### ▼フィッチ社がグルジアを「BB-」と格付け(12日)

・フィッチ社はグルジアの格付けをBB-、見通しを「安定的」と評価。2013年に財政赤字がGDPの2.6%に縮小したことを評価。主なリスクとして、為替レートに対する圧力、国内および地域的な政治状況の悪化などを指摘する一方、輸出の拡大、政治的安定性の向上などに伴って持続的なGDPの成長が復活すれば、格付けの見直しもあり得るとしている。グルジア・露関係は悪化せず、ロ

シア経済の成長の鈍化がグルジア経済に与える影響は限定的、また、政府は財政赤字を対GDP比3%以内に抑えられるだろうと予想。

#### ▼EBRDがグルジアの経済成長予測を引き下げ(14日)

・1月に欧州復興開発銀行は2014年および2015年のグルジアの経済成長を4.5%と予測していたが、最新のレポートで4%に引き下げた。

・2013年の経済成長率は3.2%。2014年第一四半期の経済成長率は7.4%（速報値）。

#### ▼仏開発局のトビリシ事務所の開設に関する合意(14日)

・トビリシで開かれたグルジア・仏経済フォーラムにて、ハドゥリ財務大臣とペルラン仏貿易・観光振興・在外仏人担当大臣は、仏開発局のトビリシ事務所の開設に関する合意に署名。トビリシ事務所は近隣諸国も管轄する。チアトゥラのケーブルカーの復旧に対する1320万ユーロの支援に関する議定書にも署名がなされた。

#### ▼2014年4月末の対外国家債務(15日)

・財務省によれば対外国家債務は41億3000万ドル(3月末より1500万ドル減)。うち政府の債務が40億5700万ドル(同500万ドル減)、国立銀行の債務が7300万ドル(同1000万ドル減)。

#### ▼2014年4月の工業製品生産者物価指数(15日)

・前月比0.8%、前年同月比1.3%上昇。分野別では前年同月比で製造業1.9%上昇、鉱業・採石業2.5%下落。

#### ▼2014年4月の外国からの送金額(16日)

・国立銀行によれば、2014年4月の外国からの送金額は1億2050万ドル。前月比4万ドル減、前年同月比190万ドル減。国別ではロシア(6170万ドル)、ギリシャ(1740万ドル)、イタリア(980万ドル)、米国(640万ドル)、トルコ(500万ドル)。

### 4. その他

#### ▼ダリアリ峡谷で地滑りが発生(17日)

・17日、ロシアとの国境付近のダリアリ峡谷で地滑りが起きた。グルジアとロシアを結ぶ道路の交通が遮断された。ロシアに向かっていたトラック数台が土砂に埋まり、ウクライナ人男性1名が死亡、7人が行方不明となっているほか、ロシアからグルジアを経由してアルメニアに天然ガスを送るパイプラインも損傷を受け、天然ガスの供給が止まった。また、土砂がテルギ川の流れを遮ったため、あふれた水でカズベギ＝ラルスのロシアとの国境通過点に至る主要道路の一部が破壊され、水没した。それにより、国境通過点への陸路によるアクセスが失われた。

・17日、露外務省は、露緊急事態省とグルジア側との間で「適切な連携と連絡がなされている」との声明を発表した。19日のグルジア内務省の発表によれば、重機器による復旧作業にロシア側は燃料18トンを提供した。